

貴重な体験 2年職場体験学習

今、学校の進路指導のなかに「キャリア教育」が重要視されています。キャリア教育とは『一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育』であります。本校ではこの趣旨に基づき3年間の系統立てた指導を目指しています。そのために1年生では職業調べ、職業講話、2年生では職場体験学習、3年生では自分自身の進路決定のための学習に取り組んでいます。



そのなかで11月7、8日(火・水)に2年生の職場体験学習を実施しました。今年度は合計33か所の公官庁、学校園、地域の事業所にご協力をいただきました。お忙しい時間をさいていただき、ご指導いただいた皆さんに感謝いたします。当日までの間に、仕事に関する知識や礼儀・態度に関することも勉強したはずですがうまくいきましたか?初めての経験で緊張し



ている人も多かったことでしょう。当日、体験場所を回りましたがみんな一生懸命やってくれていました。その姿を見て安心しました。学校では経験できない『仕事体験』のなかで勤労の大切さを学んだことと思います。「しんどかったが貴重な体験をした」という生徒の言葉から充実した職場体験学習であったことを確信しました。皆さんのおかげで職場体験学習ができたことに感謝してください。そして、この体験で学んだことをこれからの学校生活、自分の進路選択に生かしてください。



1年ブラッシング指導

11月8日(水)、5・6限に本校の学校歯科医の福本穂高先生と大阪市から2名の歯科衛生士さんを講師にお招きし、1年生対象のブラッシング指導が行われました。



最初に福本先生から『8020運動』のお話がありました。8020運動とは「80歳になっても20本以上自分の歯を保とう」という運動です。「いつまでもおいしいものを食べ続けるための元気な歯は、日々の手入れから」ということで歯周病の予防のために中学生時代からのケアが大切であることを強調されていました。

5限は学年全体でDVDを鑑賞し、6限は各クラスに分かれて歯科衛生士さんから歯ブラシの使い方等について説明をしてもらい、実際に一人ひとり歯ブラシを持って正しい歯の磨き方を指導してもらいました。生徒の感想の中に「説明がわかりやすく普段の歯みがきを見直してみようと思った」「お菓子とかジュースを控えめにしようと思った」「きれいな歯を持ち続けようと思った」などの感想がありました。講師の先生方、ありがとうございました。

平成29年11月10日

岸和田市立葛城中学校 校長 瀧 俊彰